



消防署で心肺蘇生法を学びました

社会の基本ルールとマナーを体験
津別高校生57名が職場実習を実施

津別高校では6月19日から21日の3日間、2年生を対象にフォレスター、消防署、役場、保育所、青葉幼稚園など町内12事業所で職場実習を行いました。今年で11回目を迎えた実習は進路決定に役立てることが目的で、生徒たちは社会のルールやマナーを得ようと頑張っていました。

保育所で実習した三瓶尚也君は「将来福祉の仕事を目指しているので保育所を選びました。みんなとお遊戯などができて楽しかったです。」と感想を話してくれました。



保育所で運動会のお遊戯を練習中！

初めはぎこちない滑りだった子供たちも、午後からは冬の間を感じ取り戻し、見事なシュプールを見せていました。岩谷さんは滑ってくる子どもたちに適切なアドバイスを送っていました。

7月21・22日の2日間、元オリンピック選手の岩谷高峰さんによるグレステンスキー講習会が行われました。今年で6回目となるこの講習会には道内各地からスキー少年団に所属する子どもたちと一般愛好者の59人が参加しました。



岩谷さんからアドバイスを受ける子どもたち

元・五輪選手の岩谷高峰さんが指導
グレステンスキー講習会を開催

7月3日、北見保健所と町内の4団体（津別ライオンズクラブ・JAつべつ・津別町環境衛生推進協議会・役場）が協力して、共和や高台など町内4カ所の野生大麻にある野生大麻の抜き取り作業を行いました。

野生大麻の撲滅運動は20年前から毎年続けられています。この地道な運動により野生大麻の群生地を年々減少させ、大きな成果を出しています。



ライオンズクラブなどが協力
野生大麻の抜き取り作業実施



チミケツ湖周辺に300本植樹
オホーツク地域植樹祭開催

6月24日、チミケツ湖周辺の道有林（台風被災地）でオホーツク地域植樹祭が開催されました。今回の植樹祭は、苫小牧市で開催された全国植樹祭に併せて地域一帯で森づくりに取り組むことを目的に行われたものです。主催者を代表し佐藤正敏副町長が「緑を大切にしていこう」という思いを子どもたちに伝えたいと、参加者68人は網走東部森づくりセンターの職員に植樹方法の指導を受けながらミスナラ、アカエゾマツ、エゾヤマザクラの苗300本を一本づつ丁寧に植えました。最後につべつ緑の少年団と関係者5人が植樹記念の看板を設置しました。



津別野球少年団が全カブレマクドナルド大会の全道大会開催
7月14日から16日の3日間、美幌町と津別町の3球場で全日本学童軟式野球大会（協賛日本マクドナルド）北・北海道大会が開催され、地元津別野球少年団を含む16チームが全道大会を目指し、熱い戦いを繰り広げました。

この大会に向けて、厳しい練習を重ねてきた津別野球少年団は、帯広東フェニックス（今大会優勝チーム）と対戦しました。子どもたちは保護者の熱い応援の中、全力でプレーをしましたが惜しくも初戦敗退となりました。

しかし、5年生が主力だった今年のチーム、今回の全道大会出場という貴重な体験が来年への大きな自信につながるはず。がんばれ、津別野球少年団！

昨年5月に発足した津別フットサルクラブ「さるの会」（河本純吾代表）は津別町の若者の力をPRしながら夏季リーグ戦やサマーフットサルフェスティバルに出場し、熱い戦いを繰り広げています。発足当初は5人だったメンバーも現在は17歳の高校生から34歳までの25人が在籍し、チーム力も充実してきました。

現在、夏季リーグは3試合を残し1勝1敗と優勝圏内、サマーフェスティバルも1勝2敗1分けと大健闘しました。

また、新ユニフォームを作成中で11月から始まる冬季リーグにはお披露目が出来そうだと笑顔で話す河本さん。

若い力で津別を元気にしてくれる津別フットサルクラブ「さるの会」をみなさんで応援しましょう！



熱のこもった練習を続ける津別フットサルクラブ「さるの会」



安全運転をお願いします
青葉幼稚園児が街頭啓発

6月26日、青葉幼稚園の空クラス12人が共和のリサイクルセンターを訪れ、その他プラスチック、ペットボトル、空き缶のリサイクルに向けた作業工程を見学し、分別と再使用の大切さを学びました。

園児たちは職員から「きちんと分別してね。洗ってから出してね」とお願いされた後、実際に何百本のペットボトルが圧縮梱包機から小さくなって出てくるのを見て大きな歓声をあげていました。

見学した園児たちは「固まって出てきたのでおもしろかったよ。」「また見に来たいな」と楽しそうに話してくれました。



ちゃんと分別するからね！
青葉園児がリサイクルを学ぶ